



潟上市章

かたがみ
Katagami

市議会だより

第26号



実りの秋 … 潟上市産業まつり出品物から

9月定例会

H23(2011)11.01

平成23年(2011年)
11月1日発行

9月定例会 …… 2～6

一般質問 …… 7～9

委員会報告 …… 10～13

賛否一覧 …… 14

9月 定例会

9月定例会は9月6日から22日までの17日
決算15件を認定しました。

このたびの定例会では、1月の臨時議会で
算が賛成多数で可決されました。

また、決算認定では、全会一致で認定はし
委員会では補助金のあり方について調査をする

間開催され当局提案の報告事項2件、認定1件、条例の一部改正3件、補正予算7件を原案どおり可決、

修正削除され、8月の臨時議会で否決された「新庁舎建設候補地に係る調査費」を含む一般会計補正予

たものの、総務文教常任委員会では補助金の交付について附帯決議が議決され、閉会中も総務文教常任
ことになりました。

新庁舎候補地に係る調査費を可決

各会計決算を全会一致で認定

平成23年度 補正予算

● 9月定例会に計上された補正予算の主なもの

(単位：千円)

項目	補正額
新庁舎建設に係る調査費	10,932
内訳	
・用地調査業務委託料	(2,133)
・土地鑑定業務委託料	(6,147)
・地質調査業務委託料	(2,652)
旧追分乳児保育園解体工事費	19,215
豊川地域活性化検討委員会（仮称）にかかわるもの	180
出戸認定こども園（仮称）用備品	15,647
放射線測定器購入（4台）	2,190
住宅リフォーム補助金	11,310
防災備品購入	7,343

● 補正後の各会計の予算額

(単位：千円)

会計名	補正額	補正後の予算額
一 般	103,331	13,725,600
国民健康保険事業	904	3,706,479
後期高齢者医療	1,230	249,198
介護保険事業	56,732	2,816,525
農業集落排水事業	2,096	159,867
下水道事業	5,465	1,200,288

● 水道事業会計

(単位：千円)

	補正額	補正後の予算額
収益的収入	993	551,403
収益的支出	69	511,577

平成22年度 一般会計 決算

一般会計歳入	148億9,738万1,625円
歳出	140億4,580万9,172円
差引額	8億5,157万2,453円
実質収支	6億5,521万9,655円の黒字

*平成23年度に繰り越した事業に使う財源を差し引いた額

平成22年度 特別会計 決算

特別会計歳入	85億3,849万5,169円
歳出	81億2,231万4,385円

水道事業会計 (単位：千円)

収益的収入	573,139
資本的収入	84,972
収益的支出	505,168
資本的支出	353,904

(単位：円)

会計名	歳入	歳出	差引額
国民健康保険事業特別会計	3,880,105,261	3,634,768,383	245,336,878
老人保健特別会計	2,743,767	2,637,376	106,391
後期高齢者医療特別会計	245,592,290	244,239,297	1,352,993
介護保険事業特別会計	2,803,281,621	2,709,718,838	93,562,783
有線放送事業特別会計	25,307,581	25,307,581	0
農業集落排水事業特別会計	180,678,469	168,235,069	12,443,400
下水道事業特別会計	1,367,306,331	1,306,317,086	60,989,245
合併処理浄化槽事業特別会計	5,806,299	5,425,388	380,911
豊川財産区特別会計	10,059,836	9,463,730	596,106
下虻川財産区特別会計	1,377,969	759,500	618,469
和田妹川財産区特別会計	947,010	504,000	443,010
飯塚財産区特別会計	933,612	583,014	350,598
土地取得事業特別会計	14,355,123	14,355,123	0
計	8,538,495,169	8,122,314,385	416,180,784

一般会計補正予算案の審査

庁舎候補地に係る調査費を削除する
修正動議は賛成少数で否決されました。

一般会計補正予算に 対する修正動議

発議者 伊藤 栄悦
戸田 俊樹
賛成者 鈴木斌次郎
小林 悟
中川 光博

●提案内容と理由

(伊藤栄悦議員)

将来性・利便性・中心性・経済性・防災性・広域性の観点から、⑤候補地よりB候補地がすぐれている。

理由は、交通網の要所で、広域行政事務の必要性が増していく中、市人口の配置状況から見ても位置的にバランスがとれている。グラウンドゴルフ場の代替地は、⑥候補地に新たに整備できる。

経済比較では私たちの推計ではB候補地が優位。⑤候補地一帯は福祉エリアとも言うてよいほどで、庁舎建設は避けるべき。

既存庁舎の利活用については、年内に計画立案し、それまでに建設候補地を決定し、調査費を提案すべき。

⑤候補地は、C候補地、

⑥の一部を含み、いずれも減額修正され、議会の意向は表明されている。⑤候補地面積はあらかじめ市が示した条件ではない。
C候補地等私有地の購入は効率的な財政運営を迫られている中、容認できない。建設用地取得を含め、造成費、周辺道路整備費など、他候補地とのコスト比較ができない現段階において賛成することはできない。

庁舎建設位置の検討をきつちりとした後で位置を定め、建設を具体化する調査費を計上すべきである。

●主な質疑
伊藤議員は、市民の声を聞くべしと提言をされている。市民の代表が一生懸命調査したその結果を尊重すべきではないか。

●答
投票条例が否決されていたので、市民の声を聞くべきだと思った。選定委員会に公募委員がいなかったことは非常に残念である。尊重しなければならぬが、当局からは主体的に提案していただければと思つた。

●問
グラウンドゴルフ愛好者、協会の方に、どういう説明ができるのか。

●答
市民の財産たる建物であり、私はそれ(ゴルフ愛好者)よりも、市民の3万6,000人の方が優先順位があると考えている。

●問
庁舎特別検討委員会で議論したのに、なぜ、唐突に修正案を出すのか。

●答
最初からA・B・Cという候補地があつて、その中から、候補地選定委員会がそういうふうをやつてきたわけであるから、何も唐突じゃなくて、みんなしっかりとしてそれをやつてきた。

●討論

原案(市の提案)に賛成

○15番(西村 武議員)

調査費は、結果次第では庁舎建設の土地取引に発展する。基本的に用地調査費は境界の確認等も含み、土地鑑定費は公平公正な価格を求めるため必要不可欠。地質調査費も地層と地下埋設物等の調査が当然必要。市民のための財産を購入するからには、しっかりと調査をしていただきたい。

○2番(大谷貞廣議員)

議員発議による庁舎建設調査検討特別委員会の調査と市民による新庁舎候補地選定委員会の報告を謙虚に受けとめ、耳を傾けることは選良たる議員の責務である。

○18番(藤原幸雄議員)

合併特例債を使用するには、そんなに時間がないと様々な市民から叱咤激励をいただいている。議会では、市当局から多くの資料をいただき、それに基づいて財政的なシミュレーション等も行った。合併特例債を利用しない手はない。

修正案(調査費削除)に賛成

○16番(鈴木斌次郎議員)

⑤は、C候補地、⑥候補地の一部を含むが、修正と否決されており、議会の意向は既に表明されている。当該土地は、合併協定項目の昭和・飯田川地区に限りなく近い天王地区という条件や、将来のまちづくりの観点、市民の利便性、公共交通の現状、周辺の土地利用の現状、福祉施設の現状から見ても適地ではない。

○1番(中川光博議員)

どの場所が将来いい場所なのか。庁舎を建設して、大半の皆さんから喜ばれる場所ではなくてはならないが、これはもうBに決まっている。歴史も言っているが、交通の要所に新庁舎を建設するのは、私にとって自明の理。コスト比較では、ゴルフ場を移転した金額は3億9,000万円前後で、候補地⑤はおそらく4億6,000万円ぐらいと推測。

○10番(佐藤義久議員)

一貫して都市計画、街路計画が不可欠と提言をしてきたが示されていない。建築してから道路計画などは言語道断。何故、建築を急ぐのかも理解できない。3・11の震災など急激な社会情勢の変化で、庁舎の建設どころではない。

私は庁舎建設先送り論者であるが、あえて、選択するならばAである。

私としての最適格地は二田・野村の中間点、草乙女溜池下、三枚橋周辺である。

議会改革特別委員会設置を全会一致で可決

委員長 藤原 幸作
副委員長 堀井 克見

議長提案理由説明

このたびの議会改革特別委員会は、平成21年に設置された議会改革特別委員会「今後の検討事項」となっていたものと、自治会長連合会をはじめ、広く市民から議会に寄せられております。提言などを調査・研究し、一定の結論を導き出すとするものです。

さらに、今年の1月1日の議会だよりで、私は、議会基本条例については、「先進地の事例を十分に調査・研究し、潟上市議会としてあるべき姿を探っていく。時流にとらわれず、独自性を発揮していくことが求められる」と述べました。このたびの特別委員会では、議会基本条例についても調査・研究し、議員全員が共通の知識・理解の上に立って、「潟上市議会に議会基本条例が必要かどうか」

か」についての方向性も出すべく、項目にいれていきます。

また、委員は議会全体にかかわる事項でありますので、全議員を委員とし、設置期間は、できるだけ速やかに対応することを基本にしたいと存じますのでよろしくご理解いただきたいと思います。

議会改革特別委員会の設置に関する決議

次のとおり、議会改革特別委員会を設置する。

〈名称〉

議会改革特別委員会

〈設置の根拠〉

地方自治法第110条及び潟上市議会委員会条例第6条

〈設置の目的及び調査・研究事項〉

議会は、市民の声を市政

に反映するにふさわしい体制づくりを時代の変化に応じて作り上げていくとともに、それを推進していく姿勢を市民に示すことが求められている。

とりわけ、議員活動を保障する基本的なこと、議会運営に関する根本的なことについては、重要かつ速やかに対応しなければならぬ検討課題であり、議会全体で議論を重ね、結論を導き出し、それを市民に明確に示しながら、理解をいただくことが必要とされるものである。

これらのことから、市内外の状況を踏まえながら下記の事項を調査・研究し、議会改革のよりいっそうの推進をはかるものである。

- (1) 政務調査費について（交付について）
- (2) 議会報告会について（過去2回の実施からの見直しについて）

(3) 会派について

（会派のあり方、規程の見直しについて）

(4) 議会運営について

（一問一答、反問権、総括質疑について）

(5) 広報公聴について

（議員の賛否一覧の公表について、議会中継について）

(6) 審議会について

（議員の審議会への参画について）

(7) 議会基本条例について

（先進地事例等について）

委員会の構成

全議員を委員とする。

委員長及び副委員長

- ① 委員長及び副委員長は委員会において互選する。
- ② 委員長は委員会を代表し、委員会の総括及び会議の運営にあたる。
- ③ 副委員長は委員長を補

佐し、委員長に事故あるときはこれを補佐する。

設置期間

平成24年3月定例会終了まで。

閉会中の継続審査

閉会中の継続審査をする。

議会基本条例制定特別委員会設置に関する決議について（賛成少数により否決）

提出者 小林 悟
賛成者 鈴木斌次郎

伊藤 栄悦
中川 光博

提案理由

議会基本条例を制定することを目的として特別委員会を設置するもの。

伊藤栄悦議員の 潟上市監査委員の辞職勧告決議

●提案理由

伊藤栄悦議員は潟上市監査委員という立場にありながら平成23年9月22日の本会議場において質疑の際、公金である市補助金について、「たった5万円」という発言をしました。これは許されるものではありません。よって潟上市監査委員の辞職勧告を決議するものである。

提出者 藤原 典男
賛同者 西村 武
賛同者 藤原 幸雄

●伊藤栄悦議員の弁明

私の発言で議員の皆様に変えて迷惑をおかけして申し訳なく思っております。相撲連盟への補助金は約

5万円くらいであり、少額の補助金は常任委員会で調査できるのではないかと、したがって、閉会中の継続調査は必要ないのではないかとこの趣旨の発言でありました。

「たった」という言葉の意味は、少額という意味でありましたけれども、「たった」という言語・表現は適当でなかったと考えております。休憩中の発言でありましたが、神聖なる本会議場での発言でありますので、この場をお借りし、お詫びし、陳謝いたします。「たった」という言葉の削除をお願いいたします。

賛成少数により否決

全員協議会

8月26日、29日に9月定例会に先立ち、全員協議会が開催され

(1)新庁舎候補地に係る調査費について

(2)放射線測定器の購入について

当局より詳細にわたり説明があり、質疑が行われました。

9月定例会に提出された議案等

報告事項

- 平成22年度潟上市健全化判断比率
- 平成22年度潟上市公営企業資金不足比率

報告事項 承認

- 専決処分承認（平成23年度潟上市一般会計補正予算（第4号））

条例の改正 全案可決

- 市税条例の一部を改正する条例（案）
- 湯税条例の一部を改正する条例（案）
- スポーツ振興審議会条例の一部を改正する条例（案）

補正予算 全案可決

- 一般会計補正予算（第5号）（案）
- 国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）（案）
- 後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）（案）
- 介護保険事業特別会計補正予算（第2号）（案）
- 農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）（案）
- 下水道事業特別会計補正予算（第2号）（案）
- 水道事業会計補正予算（第2号）（案）

決算の認定 認定

- 一般会計
- 国民健康保険事業特別会計
- 老人保健特別会計
- 後期高齢者医療特別会計
- 介護保険事業特別会計
- 有線放送事業特別会計
- 農業集落排水事業特別会計
- 下水道事業特別会計
- 合併処理浄化槽事業特別会計

人事案件 同意

- 人権擁護委員候補者の推薦について
- 夏井幸子氏（昭和豊川）

陳情 採択

- 「地方消費者行政充実のための国による支援に関する意見書」の採択等を求める陳情書
- 地方財政の充実・強化を求める意見書採択に関する陳情書

議員発議 可決

- 議会改革特別委員会の設置に関する発議

議員発議 否決

- 一般会計補正予算（第5号）（案）修正案
- 議会基本条例制定特別委員会の設置に関する決議について
- 伊藤栄悦議員の監査委員の辞職勧告決議

議決事項 可決

- 常任委員会の閉会中の所管事務の調査の件について
- 議員派遣の件について

一般質問

少子化対策について

児玉春雄 議員

問 本市における次世代育成支援計画の進捗と、少子化対策事業に取り組みの仕組みづくりは。

答 次世代育成支援行動計画については、5つの基本施策94事業を実施していくこととしています。平成22年度における実績は、通常保育事業や延長保育事業など、目標事業量を達成しています。

また、後期計画では、「子ども手当」「父親の育児参加推進事業」及び「特定不妊治療費助成事業」などの事業に取り組んできました。さらに、安心して妊娠・出産・子育てができるよう、中学生を対象に子宮頸がんワクチン接種を全額公費負担で実施しています。少子高齢化対策は、何よりも優先すべき課題であり、調査・検討していきます。



2歳半歯科検診

健康推進は

問 今年度から実施しているクーポン券事業の実施状況は。

答 胃がん検診では、集団検診のクーポン券利用者は45人でした。大腸がん検診は、8月12日現在で、クーポン券利用者は302人でした。クーポン券事業未受診者を対象に、再度個人通知等を行い、11月に実施する追加集団検診への受診勧奨に努めてまいります。

組織の育成は

問 地域の課題や活性化に向けて活動している団体、サークル、グループを支援し、まちづくりを進めていく仕組については。

答 昨年度から、まちづくり活動団体の自立支援を目的とした「潟上市まちづくり団体活動助成金」事業を導入し、事業活動について、5万円を限度に助成しています。補助金の内容についても検討していきたいと考えています。

自然エネルギーの活用について

藤原典男 議員

問 県での構想にある風力発電に対する考え、新庁舎への自然エネルギーの活用の考えは。

答 県では秋田市から、男鹿市につながる保安林解除を前提として民間による風力発電の取り組みを検討しています。低周波などによる健康被害や対策は県、事業主体となる民間業者の情報収集に努め不安解消のために手段を講ずるよう要請したいと考えています。庁舎への太陽光パネルの設置は経済性と安全性も考慮され、維持管理がしやすいことから実用的です。太陽光や風力など自然エネルギーの利用できる発電システムの導入等は設計の段階で検討します。



風力発電（天王江川浜）

聴覚障害者の補聴器購入への補助は

問 聴覚障害の1・2級に該当しない18歳未満の方への補聴器購入補助制度の拡充と高齢者の方の補聴器購入への補助の考えは。

答 障害者自立支援法、児童福祉法でも18歳未満を児童として定義しています。市の要綱であれば弾力条項があるはずなので、研究・検討する価値があると思います。高齢者についてはすぐに調査にかかります。

潟上市マイタウンバスの運転経路と交通権は

問 二田・追分線、昭和・真形、草生土方面へのマイタウンバスの運転経路の拡大への考えは。

答 二田・追分線は中央交通に交渉します。真形・草生土方面は今のバスでは危険なので、デマンド型乗り合いタクシーの導入を「生活交通アンケート調査」をもとに早く結論を出したいと思っています。

マイタウンバスの運行について

佐々木 嘉一 議員

問 バスの路線数と利用者数、運賃収入は、今年度試行している観光スポットを巡回するバスの利用状況とバス事業に対する市補助金は、

答 路線の見直しを行なった結果、現在は市が秋田中央トランスポート(株)に委託した5路線、秋田中央交通が運行する2路線。利用人数は平成22年度1万4,249人、運賃収入は約170万円。ブルーメッセと天王温泉くらは間は従来の2路線を延長して運行しています。観光施設の循環バス(8月末)利用者は292人。バス運行にかかわる市補助金は319万円、費用対効果は検証中です。

問 草生土、真形地区へのバスの乗入れは、

答 乗入れは急な坂道があり現



マイタウンバス

在のバスでは困難です。バスではない違う手法を検討していきます。

災害対策は

問 安全、安心と防災対策を一元化するため危機管理監を置き組織整備をする必要はないか。

答 このたびの大震災の経験を生かし現体制で対応していきます。

庁舎最適格地の調査費は

問 調査の実施により不適格となる要素は何を想定しているか。

答 地盤軟弱のため地盤改良や基礎工事に多額の費用を要する場合は想定しています。

問 土地鑑定委託料は従来の例から私が類推すると土地価格の1・5%。その計算では土地価格は4億円以上になるが。

答 公共用地の土地鑑定料は土地価格(評価額)に対する割合で定まるものではなく、左右もされない。用地調査等業務積算基準に基づき、鑑定業務項目の積み上げにより算定しているものです。

保健師の業務について

岡田 曙 議員

問 市の人口に対する保健師の体制と配置状況は。また保健師としての必要性、重要性は。

答 保健師の1人当りの人口は約3,100人で、必要な配置に努めています。地域保健活動を推進するため、活動を担う職員や健康づくりの組織の皆さんと連携を図って保健福祉の向上に努めます。



保健指導(はつらつ教室)

答 結核検診は早朝集団検診で他の検診と同時に実施しています。結核に対する知識の普及啓蒙に努めてまいります。また、結核予防婦人会組織と連携し検診の受診率の向上を図っていきます。

墓地公園の管理は

問 市の墓地公園は5カ所です。すべての区画に墓が建っているわけではなく、清掃が行き届かず、荒地となり、雑草やごみが散乱しています。墓地の管理委託の内容は。

答 天王地区に2カ所、昭和地区に3カ所の墓地公園があります。個人管理されていない所が見られます。墓地公園の通路や共同箇所の草刈り、樹木の剪定などを市内の2業者に委託し環境美化には配慮しています。

今後も永代使用する土地の管理については使用者が適正に行うようお願いします。

結核予防対策は

問 市でも結核の新規患者が発生している。効果的な分析をし、健康づくりの視点からの予防対策は。

一般質問

食菜館くららの経営について

藤原 幸作 議員

問 「食」と「交流」をテーマとした潟上市地域再生計画による産直センター「食菜館くらら」が4月30日オープンした。市によって店舗等の固定資産が提供される「施設提供型」の経営に流されることなく、経営管理の厳しさを追求してほしい。4カ月の経営実績と今後の経営戦略の見通しは。

答 8月末現在の売上額は、農林産物2,764万円・水産物623万円・加工品等4,263万円の7,650万円。現在161名の組合員が登録。出荷は農産物111名(128品目)・手芸・木工品21名・水産物9名の141名。今後は、いかに通年の出荷体制が出来るかが課題であり、昨年来、



食菜館くらら

市単独で農業生産力向上事業を創設し、パイプハウス等の購入に対し40%の補助金を交付しており、出荷増に期待しています。また、秋田県立大学と連携しアンケート調査を実施して、消費者の声を営業に反映させたいと考えています。

八郎潟漁撈用具 収蔵庫の対応は

問 元木山公園の一角にあるこの施設は、潟上市唯一の有形民俗文化財です。今後の対応は。

答 屋根等の修繕・標本の保存方法の検討をします。展示物の活用については潟上市文化財保護審議会と協議・検討します。

昭和民俗資料館の対応は

問 この萱ぶき民家は、建物自体重要な民俗資料。今後の対応は。

答 屋根や全体の施設の老朽化が著しく、今後、本市文化財審議会が総合的に協議・検討します。

行政視察 来訪

10月11日

三重県桑名市議会
会派 新自由クラブ(4名)

○視察事項

幼保一体化の取り組みについて

- ① 実現までの議論と現状などの概要
- ② 公私との連携



若竹幼児教育センターを視察

10月18日

静岡県裾野市議会
総務常任委員会(7名)

○視察事項

公会計制度における基準モデル採用について



市財政課職員が説明

総務文教

市はどう答えたか

委員長	菅原	久和
副委員長	小林	悟
委員	藤原	典男
委員	西村	武
委員	鈴木	斌次郎
委員	堀井	克見
委員	千田	正英

●スポーツ振興審議会条例の一部を改正する条例

問 これまでの「スポーツの振興」から「スポーツの推進」と変更になった違いは。

答 各種スポーツ事業を興し実施する体制から、よりスポーツ事業などに力を入れ、各種施策を推し進めるための法律制定です。

●一般会計補正予算

問 子供の駅設置事業補助金は、八郎潟ハイツと道の駅しようわが対象だが他に対象となる施設は。

答 道の駅てんのうには、すでに「おむつ交換台」が設置されています。

問 財団法人秋田県市町村職員互助会が破綻したが、これまで積み立てた分の返還はあるのか。

答 職員互助会は合併前から職員の福利厚生として給与に充てて公費負担してきました。3月末までに退職した職員には、支給されているが、破産となれば、4

月以降は支給されません。

問 豊川地域活性化検討委員会の検討内容は。

答 これまでのコミュニティ活動だけでなく、地域の資源を活用した新たな活動を推進、潟上市全域から人が集まるような事業を展開し、豊川地域だけでなく広く潟上市全域の活性化につながる活動です。

問 天王一向球場の利用人数と利用状況は。

答 年3,073人で地域の団体の練習のほか、高校軟式野球リーグ戦、おはよう野球、全県学童野球大会に利用されています。フェンスの破損や腐食で修理費の予算計上です。

●一般会計歳入歳出決算の認定

問 指名業者の中に税金滞納業者はいるか。

答 滞納業者は指名しておりません。

問 歳入歳出差し引き額が例年より多くなっているがその内容は。

答 繰越金の内訳は歳出の不用額が4億1,900万円ほど、特別交付税が予算に比べ1億7,500万円ほど増えたこと、平成23年度への繰越財源が1億9,600万円ほどで、これが主な内訳です。

問 平成23年度の決算では市税が減り市債が増えて財政規模は膨らんでいる。今後の財政運営は。

答 国の経済政策により普通交付税は増えています。平成27年以降は合併市町村の合併算定替えにより普通交付税の加算が段階的に縮小、廃止されますので、合併特例債を活用した基金造成を行う事も検討し、行財政改革も進めていきます。税収増につながる施策を行う必要性があります。

問 自治会活動推進費補助金の内容は。

答 世帯や規模、活動に応じて算出しており、広報の配布経費も含まれています。補助金総額約4,400万円のうち広報配布は約1,700万円です。活動実績など聞き取り等を行っています。

●少数意見の留保

提出者 小林 悟
賛成者 鈴木斌次郎

一般会計補正予算(第5号)(案)について

●意見の要旨

歳出2款1項6目13節
委託料
1,093万2千円
内訳

用地調査業務委託料	211万3千円
土地鑑定業務委託料	614万7千円
地質調査業務委託料	265万2千円
候補地⑤の調査費	265万2千円

の候補地⑤の調査費について、候補地⑤の周辺道路についての説明が明確でなく、他の候補地との比較ができない。以上の理由で調査費に反対する。

※少数意見の留保とは
委員会で廃棄された少数意見も本会議では多くの同調者を得られる可能性があり、会議規則において、委員会で少数意見を留保したものに對しては、本会議での報告を認めることとしている。

附帯決議を可決

市体育協会での補助金の使途に疑義

平成22年度潟上市一般会計歳入歳出決算における10款教育費7項保健体育費1目保健体育総務費19節負担金補助及び交付金の中の、市体育協会補助金210万円の、潟上市体育協会に対する補助金に係る歳出であるが、本補助金は各競技団体へさらに交付が行われており、市から交付された補助金が実際にどのような基準で各競技団体に交付され、団体でどのような事業を行い、どこに補助金が支払われているのか極めて不透明であり、その把握が難しい。このことについて、

には必要である。さらに、補助金の交付に当たっては、条例遵守等を基本とした姿勢を徹底した上で、公金の支出であることを鑑み、事業執行に係るその経費等の支払先については市民からの誤解を招かないように、倫理的な面からチェックをする体制の構築を図り、これまで以上に適切な補助金の交付に万全を期すように市には強く求めるものである。

平成23年9月20日

※附帯決議とは

議案などを議決するにあたり、可否だけでは意見を十分に表明し尽せないときに、附帯決議を議決して事実上の意思を表明するもの。長などに、これを尊重する政治的、道義的な責務を負わせる意味を持つ。

閉会中の継続調査

総務文教委員会所管の補助金の交付について

・目的

現在の交付状況、交付団体などにおける事業の実施状況、補助金の使途

などを調査しながら問題点、課題などを整理し、今後の補助金交付のあるべき姿をさぐり、議会における厳正な審査の糧とする。

・方法

市および関係団体より資料の提供又は意見を求める。

・期日

平成24年2月21日まで
(総務文教常任委員会委員の任期まで)

※本会議にて
全会一致で可決

新庁舎建設地選定に関する要望

参考人より御意見をいただきながら質疑を行ない、採択すべきものと決しました。

参考人…潟上市グラウンド

ゴルフ協会会長

門間嘉雄氏

副会長 小野昭一氏

副会長 小松吉雄氏

陳情の内容

グランパスは、県内でも1位、2位の立派なゴルフ場で、市内外からも多くの方々から利用されています。それを、新庁舎を建設するために、壊すことは協会会員のみならず利用者にとっては大変困ります。多くの利用者により大変盛況

であり、存続するよう皆様方のご協力をお願いします。

問 現在のグラウンドゴルフ協会の会員数は。

答 天王支部が250人、昭和支部が120人、飯田川支部が90人。

問 市内外からの利用者は増えているか。

答 土日になると子供や孫を連れて家族連れが多い。支部では定例会が週2回開催されているほか、384人が定員の月例会ではいつも定員となり、参加できない方も沢山います。指定管理者から聞いたところ、天気の良い日は平日でも200人を超えていて、五城目町や男鹿市、特に秋田市からの利用者が多く、全県大会も要望されています。

問 協会に加入していない方の利用状況は。

答 協会に入っていない愛好者も沢山います。毎日来ている方、愛着を持っていらっしゃる方も多く、好評を博しています。ここは残してほしいと強く要望されています。くららで汗を流し、食堂も大会があることに利用者が増えるなどの相乗効果もあります。

問 新庁舎について、代替地という考えは全くないのか。

答 市の発展を考えると、あの近くに庁舎が建てられることは賛成ですが、代替地については一切考えていません。現在地が最適なので、それ以外は考えられません。

問 生きがいをかけていくというが、他のグラウンドゴルフ場ではできないのか。

答 通常の練習のために遠いところへは行きません。愛着を持って市外に行くことはありません。

問 高齢化社会において、生きがい、健康づくりの面での施設利用は重要なポイントにもなり、市内外の広域的な役割を果たす効果も非常に大きいと思うが。

答 全くその通りです。よろしく願います。

問 50年、100年の大計で庁舎を建てるので、どちらを優先するかとなると、グラウンドゴルフ場を移転してもよいとする考えを持つかなりの数の議員がおりますが。

答 協会では、移転については想定もしていません。

社会厚生

市はどう答えたか

委員長 佐藤 昇
副委員長 中川 光博
委員 児玉 春雄
委員 藤原 幸作
委員 岡田 曙
委員 佐々木 嘉一

●一般会計補正予算

問 放射線測定器の納期と検査態勢は。

答 3カ月から4カ月となります。測定器を各庁舎及び追分出張所に配置し、小学校の校庭、保育園の砂場を予定しています。

問 防災備品の配備は。

答 公民館、介護予防センター、体育館などに発電機7台、生活環境課の管理として5台です。

問 自主防災組織の内容は。

答 現在、自治会で7つの自主防災組織があります。組織化を進めてまいります。

●国民健康保険事業特別会計補正予算

問 国県支出返納金の内容は。

答 出産育児一時金増額分と特定健診の差額分を返納するものです。

●介護保険事業特別会計補正予算

問 要介護認定者の状況は。

答 約1,650人で18.8%です。

問 介護保険料の見直しは。

答 3年で見直しを行うことになっていきます。24年から26年度は第5期計画の策定に向けて見直し作業を行っています。

●一般会計歳入歳出決算の認定

問 はり、きゆう、マッサ―ジ療養費の内容は。

答 8カ所指定しており、65歳以上が対象で、6回を上限に1回につき1,000円を助成しています。

問 緊急通報体制等整備事業委託の利用は。

答 約100世帯で65歳以上のひとり暮らしや高齢者のみの世帯。

問 シルバー人材センターの依頼状況は。

答 会員数136人で依頼件数989件。官公庁からの依頼は11%です。

問 母子家庭の住宅整備資金の限度額と返済期間は。

答 限度額は150万円、償還期間は10年です。

問 子宮頸がん予防接種3回接種済みはどの位か。

答 中学校3年生で57.8%です。高校一年生まで延長できます。

問 ヒブワクチンの見合わせがあったが、その後の対応は。

答 対象者への通知で周知を図り接種を再開しています。

問 農業用水質検査と項目は。結果の公表はしているか。

答 水質基準項目10項目を実施し問題はない。公表はしていませんが、今後検討します。

問 最終処分場残余客量算定業務の委託先は。

答 委託先は秋田用地設計事務所。平成30年3月末で満杯となる見込みです。

問 消防器具庫の計画は。

答 23年度は天王支部第8分団と第10分団です。



消防器具庫を建設（下出戸農村公園隣接地）

●国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定

問 徴収についての対応は。

答 収納率の向上は依然として厳しいです。

委員長 佐藤 義久
副委員長 伊藤 栄悦
委員 大谷 貞廣
委員 菅原理恵子
委員 澤井昭二郎
委員 戸田 俊樹
委員 藤原 幸雄

産業建設

市はどう答えたか

●一般会計補正予算

問 道路橋梁費と修繕料は。

答 防雪柵の修繕はふるさと農道の児玉側の道路です。防雪柵の巻上機の場所は実在しています。

問 市営住宅の払い下げの考えは。

答 現在入居者へアンケートを実施し、意向調査をしています。結果をまとまり次第報告します。

●水道事業会計補正予算

問 JR横断実施設計の今年度予算計上の理由は。

答 配水管布設工事は平成25年3月末に通水する予定で、2カ年の継続事業のため、線路横断箇所はJRで工事施行することから、JRとの協定を結び、今年度実施設計の委託を行い、平成24年度に推進工事を実施する予定です。

●一般会計歳入歳出決算の認定

問 市営住宅使用料の収入未済額の対応は。

答 3カ月未納が続いた場合は電話と文書で本人と保証人に納付指導しています。

問 緊急雇用対策事業の補助金の算定基準は。

答 実績に基づき請求しています。

問 商工会事業のプレミアム付き共通商品券補助を来年もできないか。

答 今後商工会と協議します。



市営住宅

問 急傾斜地崩落対策工事の繰越は完了か。

答 新薬と鳥木沢地区の工事が繰越されています。

問 県立大学連携事業委託の成果は。

答 地産地消と八郎湖再生に応じた本市の地域活性化に関する研究の成果はあります。



市と連携（県立大学）

問 地域再生事業費の旅費で、宮崎県都市に視察研修した目的と職員数は。

答 都市との産地間交流の協議と、食菜館くららに関する運営のための現地視察で、職員は5名です。

●農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定

問 滞納繰越者への対応と今後の取り組みは。

答 地方自治法に基づき受益者分担金を中心に、差押を実施しています。毎月督促状を送付し、催告状の発送、差押事前通知書、差押というように料金の確保に努めていきたい。

●水道事業会計決算の認定

問 江川等の水道未普及地域を早急に解消できるように望むが、今後の計画は。

答 平成27、28年度までに国の経済情勢の変化等により流動的であるが早期に未普及地域の解消に努めます。

9月定例会各議員の賛否一覧(全会一致を除く)

会派名	議案等 氏名	陳情第9号 新庁舎建設 地選定につ いての要望	議案第61号 一般会計補 正予算案 (修正案)	議案第61号 一般会計補 正予算案 (市当局案)	議会基本条 例策定特別 委員会の設 置決議	伊藤栄悦議 員の監査委 員辞職勧告 決議
政和会	西村 武	○	×	○	×	○
	堀井 克見	○	×	○	×	○
	藤原 幸雄	○	×	○	×	○
	岡田 曙	○	×	○	×	○
共産	藤原 典男	○	×	○	×	○
平成会	大谷 貞廣	○	×	○	×	×
	児玉 春雄	○	×	○	×	×
21新世	小林 悟	×	○	×	○	×
21振興	戸田 俊樹	×	○	×	○	×
	菅原 久和	×	○	×	○	×
	中川 光博	×	○	×	○	×
21改革	鈴木 斌次郎	×	○	×	○	×
	伊藤 栄悦	×	○	×	○	×
	佐々木 嘉一	×	○	×	○	×
政友立志会	澤井 昭二郎	×	×	○	×	×
	藤原 幸作	○	×	○	×	×
公明	菅原 理恵子	○	×	○	×	×
新星だるま	佐藤 義久	○	○	×	○	×
正志会	佐藤 昇	○	×	○	×	×
結 果		採 択	否 決	原案可決	否 決	否 決

9月定例会では、新庁舎建設候補地に係る調査費が、1月の臨時会に提案されてから8か月目にして可決、議会内には議会改革特別委員会が設置されることになりました。議会改革は平成21年からの懸案事項です。議員には、二元代表制の機能を発揮しながら、合併後の市民の一体感の醸成のため、常に前向きな思考と姿勢であることが何よりも求められています。本定例会で、市政・議会はその意味で大きく、そして確実に前へと踏み出しました。

また、地方主権時代では、市民が積極かつ主体的にまちづくりへ参画することも急務であり、これらを十分に念頭におきながら議会改革を進めることも必要です。

これからも市民から理解されるよう私も含めて、選良たる議員は見識と良識のある行動をしたものです。

(堀井克見記)

編集後記

